

委員会等の会議録

1 会議名	第6回愛南町学校統廃合検討委員会	
2 議題	(1) グループ協議について (2) その他	
3 開催日時	令和3年5月28日(金) 19時00分から20時35分まで	
4 開催場所	愛南町役場本庁3階 大会議室	
5 傍聴者数	※非公開会議	
出席者		
6 委員	出席 17名 欠席 3名	
7 担当所属	所属名	学校教育課
	担当職員 (職・氏名)	教育長 中村 維伯 課長 岩井 正一 課長補佐 近田 幸信 課長補佐 西田 順哉
8 その他の出席者	所属名	
	出席職員 (職・氏名)	
議事内容(次ページから)		

発言者	発言内容
近田課長補佐	定刻となりましたので、ただ今から第6回愛南町学校統廃合検討委員会を開会します。
委員長	(開会あいさつ)
近田課長補佐	(本日の資料の確認) それでは、早速協議事項に移ります。ここからの議事進行につきましては、委員長にお願いします。
委員長	それでは、まず初めに、愛南町公立小中学校再編に関する答申書骨子案について、岩井課長が御説明いたします。 岩井課長、お願いします。
岩井課長	それでは私のほうから、御手元にある、答申書の骨子案を御説明させていただきます。 これはあくまでも、これまでの皆さんのいろいろな御意見、アイデア等を踏まえた上で、ちょっと事務局のほうで今日協議するための、たたき台という意味でとらえていただきまして、ここに書いているものが決まったというわけではなく、また後のグループ協議の中でいろいろと書いていただいたり、追加してもらったりという意見を出していただけたらありがたいと思います。 前回これまでの議論というところで説明しまして、この青い部分とピンクの部分の部分を皆さんで協議して、いろいろと案を出してもらいました。 それで、総論は統合の方向で、今回から再編という言葉を使わせていただけたらと思うんですが、再編の方向で検討しようというところに落ちついたと思います。 前回、いろいろな課題や不安について協議をしていただいたというところで、こんな形で皆さんに熟議を重ねてもらって、また、リーダーの方々には、その班の意見をうまくまとめたいただいたりしました。 こういった付箋に皆さんの意見アイデアをまとめてもらいました。 こういう感じだったと思います。 それで皆さんの意見を付箋に貼ったものを全部こちらのプリントなんか打ちかえてみまして、グループといいますか、ち

よっと見にくいですが通学のことであったりとかこういった不安であったりとか、というようなことを皆さん、いろいろとアイデアを出していただきました。

こういった枠組みであったりタイミングであったり、5年後、頭に入れてというような話をしてくださったと思います。

それで、青い部分の不安の部分が解消されていったり、また薄らいでいくと、こういうイメージになるんじゃないでしょうかというところで今回は終えたと思います。

プリントの部分をスライドにしてみました。

最初の適正化とか適正配置に関する基本的な考え方というのは、2回目のときに、おおよそ大体2学級以上が望ましいというところで、小学校ならこういった規模と配置に関しましては、それまでの意見をいただいて、ひとまずこちらでそういったものを勘案すると、旧町単位で1校の5校なのかどうなのかなという数字をちょっと御提示させてもらっています。

これは決めたわけではないので、後ほどいろいろと皆さんで考えていただけたらと思います。

中学校も同じく2学級以上でということなんです。

この2校というところを提示させてもらっていますけれども果たして、これがどうなのか、また皆さんでいろいろと議論していただけたらというふうに考えております。

具体的な再編の方策というところで、やはり先ほど出ました課題や不安等への対応についてということで皆さんから出された提案と、教員や支援員を再編先の学校へ配置ということが出来ないとか、同じ児童生徒を再編先の学校でも同じクラスにするとか、活躍の場とか、こういった発表の場の減少対策とか学習環境などへの不安というところは、交流学习を再編前からいろいろする、これは、交流の仕方も前回いろんなアイデアが出たと思います。そして体験学習とか。

不安を持つ子供に対しては、スクールカウンセラー等の活用介入とやったらどうかというようなこととか、通学負担分の増への対応ということで、これもいろいろな御意見をいただきました。

非常に参考になるなと思いながら前回見せていただきました。

やはり地域に学校がなくなることへの不安、これもいろいろなアイデアを出していただいて、この地域にとっていうところは、もうこれは本当に永遠のテーマですし、とっても大切にし

なければならぬ部分っていうふうに考えております。

具体的に再編を行う際に考慮する事項ということで、先ほど言ったように小学校なら5校とか。

ただ、再編しても、旧町単位でいくとやはり複式学級が解消出来ない学校も当然あるかと思いますが、それはそれで当面の間、存続していったらどうでしょうっていうのは書かされてもらっています。

そういった場合に、1人以下の学年が予想されるときには、やはりさらなるっていうところもある必要があるのかなと思いつつながらそこに書かされてもらっています。

それと、特認校というのをいささか出さしてもらいましたが、校区外から児童の中学を、いわゆる小さく残るところは、そういうのも一つの方法かなと。

中学校については、やはり6学級以上が望ましいというふうに聞いております。

学年で2クラスを確保出来ない年度が予想される時点で、さらなる再編の検討は必要なのじゃないかなと。

もう一つ、新しい考えなのですけれども、再編するときに、何々中学校に統合ではなくて新しい校名によって統合するとかいうのも、一つの案かもしれないなど、これは勝手に私のほうで入れさせてもらいました。それで3番目として、再編の枠組みについて、ここがまたいろいろ思いが出てくると思うのですが、ここはあえて何処どこみたいに載せていませんので、また皆さんでいろいろ意見を交わしてもらおうとありがたいと思っておりますので、それと5年以内に可能な学校から実施。なんで5年以内なのかっていうことも、前回出たと思います。

それで、小学校を見てみると、学級数は減らないのに、教員が減るっていうことが起きるのですが、これは15人、16人が境で、16人児童がいる場合と15人の場合とで、教員が1人減るというような境目があるのです。

そういったところが、今年度実際に出ましたし来年度も出ますよと。

教頭の未配置っていうのもあります。

3学級で12人を切ると、11人などになると。

教頭が未配置になります。来年度以降出ます。

その次の年2校出ます。

次の年も1校でます。

3年間で3年向こうには6校、そういう学校が出来ますとい

うこと、そういったところを考えると、やはり、5年以内っていうのは一つの目安かなっていうのを載せさせてもらっております。

それと、児童数が、4年後には600人を切ります。

これは初めて600人を切るというようなこともあろうかと、中学校については、当面350人程度でずっと推移していきますが、既に部活動などには支障がでたり、そして、来年度においては、もう全学年2クラスを維持出来なくなります。

来年度、御荘・城辺が2クラス、3学年なのでですけど来年からは、両方とも1年生は1学年というような形になります。

やはり、再編計画っていうのを仮につくるとしても、やはり保護者と十分調整して、地域の理解を得ながら、決定することが望ましいというふうになるのではないかと。

策定は、この仮称の再編計画は、出来れば、今年度中に、策定することが望ましいのではないかとというふうな書き方をしています。

その他についてはやっぱり学校施設の老朽化っていうのも見据えながら、例えば新校舎であるとか、改築であるとかそういうのも必ず出て、どれぐらいの将来なのか、まだ今のところはっきりしていませんけれども必ずそういうときは来ると、その他の要素として最初の頃皆さんからも意見いただいたりしましたけれども、子供の減少っていうのはどうしてもこれ社会問題で、あと産業振興などもありますけれども、ここの検討委員会ではなかなか答えが出るものでないので、やはり総合的なまちづくりの中で取り組んでいくという考え方が必要なのではないかと思います。

そして最後に、これは結びの部分を書き込んだらと思うのですが、多様な社会変化を生き抜く、またはともに生きる子供の育成とか、今ちょうどICTが進んできて、GIGAスクールということで1人1台端末、後でちょっと映像を見てもらいますけれども、本当にデジタル環境が生活の中、また社会の中で出てきます仕事の中でも出てきます。

そういったものに対応できるように、できるためのスキルを身につけるっていう環境もつくっていかなければならない。

それと、これはちょっと初めて書いていますが認知能力とか非認知能力、認知能力っていうのは、今までもいろんなところで話が出ましたけれども小さな学校でも、先生と一対一でも、全然学力は劣らないのだからっていうようなことも言われますが、

	<p>確かに、そういったものは、小さいところでも身に付くよって いうことは言われています。</p> <p>ただ、それを支えたり、伸ばしていく、やる気とか忍耐力と かこういったもろもろのもの、また、社会性とか思いやりって いうことなどは、やはり子供たち同士の中で培って養っていかな ければ育たないのだからよってというようなことも言われていま す。</p> <p>それによって将来の社会を担う人材に、愛南町の子供たちが、 成長していくことを期待しますよというふうなつくりにしたいた かなというふうに思っております。</p> <p>ここで先ほど言いました映像を見ていただけたらと思いま す。</p> <p>これが城辺小学校は、ある一つの学年を昨年度から半年、先 倒しして、タブレット端末を入れてやり始めています。</p> <p>これは今年度に入ってからの様子です。</p> <p>(GIGA スクール紹介ビデオ上映)</p> <p>(終了)</p> <p>本来なら、委員さんの皆さんにもお時間をとってもらって、 この様子を学校に見に行っていたら 1 番いいのですけれど も、こういった状況なので、画像で紹介ということにさせても らいました。</p> <p>それでは一応、こちらからの説明は以上といたしますが、ま た説明に関して質問なことがあったらまたよろしくお願いま す。</p> <p>説明が終わりました。</p> <p>ここままで御意見、気がついたことや、何か質問その他あり ませんか。</p> <p>特に、なければ、続きまして、グループ協議に移りたいと思 います。</p> <p>これからの進行につきましては、山本副委員長が行います。 副委員長お願いします。</p>
委員長	
副委員長	<p>はい。 失礼します。</p>

	<p>前回に引き続き、グループ協議をお願いします。</p> <p>先ほど事務局から説明のあった、こちらについて話し合ってください。</p> <p>特に、配置数や再編の時期などを中心にお願いします。</p> <p>また、時間がありましたらその他の項目についてもお願いします。</p> <p>賛成的意見は、青色の付箋で反対的意见は赤色の付箋でその他は黄色の付箋で書いてください。</p> <p>約 20 分程度でお願いいたします。</p> <p>そのあと、前回と同じように、グループごとに話し合った結果を発表していただきます。</p> <p>御質問はありませんか。</p> <p>それでは始めてください。</p> <p>進行の方よろしくお願いします。</p>
委員全員	(3 班に分かれてグループ協議を行う。)
副委員長	<p>失礼します。</p> <p>あと 3 分ぐらいでまとめてくださいよろしくお願いします。</p> <p>失礼します。</p>
副委員長	<p>時間が参りましたので終了してください。</p> <p>それでは、1 班から話し合った結果を発表お願いします。</p>
委員	<p>失礼します。</p> <p>まず、学校規模骨子の中に、小学校が 5 校、中学校が 2 校という案が出ておりました。</p> <p>そこについて話をしました。</p> <p>小学校についてはもう全委員が、これがいいのではないかという意見です。</p> <p>中学校につきましては、基本的にこうでいいのだけど、その 2 校をどこにするのか。</p> <p>例えば、御荘・城辺は近過ぎるのではないかなあという意見もありました。</p> <p>それから、やっぱり大きい御荘地区、城辺地区っていうのが中心になるのがいいのではないかなあという意見もありました。</p> <p>あと、やっぱり統廃合とか吸収とかよりは名前変えるという</p>

後でも出てくるのですが、そういう意見もあって、ちょっと離れる一本松とかもどうやろうかって言ったのですが、例えば一本松1校と御荘か城辺1校になったら、ほとんどの人たちが御荘城辺のほうを希望するようになって、一本松は結局増えないほうになるかもしれないというような意見、いろんな意見が出されたのがこのところですよ。

それから、やはり再編されていくことの中で通学についてはきちんとフォローはしていただけたらと思うのですが、スクールバスであったり、あいなんバスであったり、国道通るところは多分宇和島自動車なんかも使うと思うのですが、地区によっては、遠いしバスもあんまり通れないとか、とっても少ない人数なのだけど、どうしても車が必要な地区っていうのも恐らく出てくるので、タクシーの対応とか、細かいところまで配慮していただけたらというようなことが出ました。

保護者負担をやはり減らす工夫例えば小さな小学生のある家庭で両親共働きの家庭で、今現在の放課後児童クラブっていうので、フォローしてもらっているのですが、職場が町なかのある人だったら、仕事が終わったときに、そのお子さんを連れて帰れる。だけど地元に行って、海で働いている山で働いとるという人たちは、放課後にわざわざまた行って、連れて帰ってこないといけなくなるので、そういうことを考えると、そういうある程度細かいバス便やタクシー便の時間体をちょっと増やすことは考えられないだろうかというような意見でした。

それから、5年以内に再編を進めるという意見についてはもうほとんど全員賛成をしています。

地元ではやはり反対の意見が出るとは思いますけど、それはそれでもやはり、5年以内というので進めていけばいいのではないかと。

ある程度もうこの今日、今回のこの話合いと、町教育委員会の話合いの中で、ゴールを早く示して、例えば何年後にはこの学校あたりになりますよということが見えとったら、もしかしたら、5年を待たずに、とても小さな学校は、先に最終的に何年後かになる学校に統廃合を先に進めてもらってもいいというような意見も出てくるかもしれない。

というようなことが出ました。

最後に、再編をしていくときの中が、学校名をどう変えようという意見が今回新たに課長のほうから出されて、特に中学校については、やはりその名前を検討していただけたらありがた

<p>副委員長</p> <p>委員</p>	<p>いなという意見で終わりました。 以上です。</p> <p>それでは次の2班お願いします。</p> <p>失礼します。 2班です。 大きく四つです。 まず小学校の校数とか、枠組みなのですが、これ青色であって、やはり基本的には、旧町村で1校に賛成という意見が多かったです。 これ赤色が一つだけあるんですが、やはりそれは西海です。 西海がやはり統合しても、複式が解消できないということで、これについては、どうだろうかというのでちょっと三角印になっています。 ただ全体のグループの意見としては、たとえそれであっても保護者がそれを望むのであれば、取りあえずの統合としては、それがいいのではないかと。 そしてワンクッションにおいて、保護者のほうも、やはりもう少し大きく統合を望むという、そういう意見が出てくるようであれば、その段階で、さらなる統廃合っていうのか、統合っていうのが、いいのではないかという意見が大体多かったと思います。 それから中学校です。中学校も、こういう青色が多くて、2校案というのに賛成が多かったです。 その2校で城辺、一本松篠山のあたりは比較的に通学としてもやりやすいのではないかと思うのですが、もう一方のこの三角があるんですけど、やっぱ内海中のあたり、内海中と御荘中を引っつけるとなったときの内海中の通学時間とかその距離というのが、許容がどの程度できるんやろうかと。 1時間というのを毎日1時間っていうのがどうやろうかというので三角がつかしました。 で、1時間であれば、部活もかなり制限せざるを得ないと。 場合によっては保護者によってはもうそれやったらとって宇和島を選ぶ保護者も出てくるかもしれないと。 ただ、そうかといって、何かほかの代案があるわけではなくってというそこら辺で終わっております。 それから時期についても青色です。5年以内というので大体</p>
-----------------------	---

	<p>いいんじゃないのか。</p> <p>ただ、先ほどの西海にもあったように、小規模で複式が残った状態でいうところもありますので、やっぱりそれは5年というのはあくまでも目安で、保護者の意見でも、もっと早くとかいう意見が出るようであれば、そのタイミングでというのもいいのではないかとということでした。</p> <p>そしてもう一つその他で、やっぱり学校名のことを、御意見が出ました。</p> <p>例えば中心になっている学校そのまま残すよりは、城辺御荘という中学校の名前残すよりは、やはり新しい学校名のほうが、いいんじゃないかという意見でした。</p> <p>例えばですけど、ほかの市町村やったら、東とか西とか北とか南とかを使いますので、例えば愛南東とか西とかっていうのもあるんですけど、ここは十分にまた考えたらええんやないかということです。</p> <p>それとあと、制服というのでも出ました。</p> <p>中学校で一緒になったら、これまでの制服どうするかと。</p> <p>お下がりを使う、上手に使い回していたんですけど、そこらも取りあえずはある制服を使いながら何年かかけて一つにまとめていくとかいうのが現実的やろうかという御意見でした。</p> <p>以上です。</p>
副委員長	<p>ありがとうございました。</p> <p>それでは最後に3班お願いします。</p>
委員	<p>3班です。</p> <p>ちょっと一つの課題に拘ったので沢山は進んでないんですが、小学校については5校やはり適当だろうと。</p> <p>時期等についても課長さんが説明していただいたように教職員が減るとか、本当にそういったところもデータ出していただいとるんでやはり5年等が5年以内等が適切かなって、それから具体的に内海の小学校やったら、柏と家串があるけどどっちがどこに来るかな、あるいは、中学校跡がもしも中学校が受けられたら、中学校跡にも小学校区という方法もあるのかな。</p> <p>西海小学校については地震、津波とかそういったものを考えたら船越かなっていうようなところも具体的に出たりはしたんですが、やはりこのあたりについてはやはり地域でしっかり検討していただく必要があるだろうというようところがでま</p>

副委員長	<p>した。</p> <p>中学校ですが中学校ももう、2校が適当だろうと。</p> <p>その2校のくくり方が少しいろんな課題が出ていて、やっぱりいろんな地震とかそういったところを考えると一本松がやはりいいのではないかなというようなところが出ます。</p> <p>ただ、先程も出たように一本松と城辺御荘地域とすると本当に60人ぐらいと300、400、もう明らかな学校、生徒数の規模が異なるのでなかなか難しいし、城辺の今住んどる子らに行きなさいということも現実的には無理だろうなど。</p> <p>そういった立地とか、そういったことを考えるとまちづくりとか、この庁舎も病院もそういったものを含めて一本松のほうに設置していくっていうような形がもしもできるのであれば、一本松に大きな学校をっていうようなところも考えられるのではないかなという意見もいただきましたがなかなか現実的には難しいかなというようなところではあります。</p> <p>赤で書いているのは選択制とか、学校の特色を生かして本当にいきたい学校に行けるように、あるいはスクールバスを本当に、もう、かなり充実させて、子供たちの通学の安全をっていうようなところまででたところではあります。</p> <p>新しい学校名についてというところは、話し合いをしていないのですが、先ほどの城辺と御荘を一つの学校にっていうところで出たときに、どちらの学校の一つにするかっていうところかなりもめたり、あるいは校名も、私自身は御荘という校名とか城辺という校名も、かなり保護者や地域の人が、すごくこだわって、これを変えるっていうのは、どんなふうなもんかなっていう逆に思ったりもします。</p> <p>城辺中学校でやったこの前、50周年やって、城辺っていう中学校が残しておりましたも、御荘はもちろん御荘の名を残そうと、町名という、地区名も御荘という名前もこだわって残されるところなので、かなりこの名前も、新しくしたほうがいいとは思いますが、かなりやはりたくさんの人たちがいるので、そういった地域の感情とかいうところも非常に考慮していかなければならないところかなというふうにも感じます。</p> <p>以上です。失礼します。</p> <p>ありがとうございました。</p> <p>以上でグループ協議を終了いたします。</p>
------	---

<p>委員長</p>	<p>皆さん、お疲れさまでした。 ただいまのグループでの意見は答申に生かさせていただき ます。 それでは全体の進行にお返しします。</p> <p>続きまして、次第3、その他に移ります。 その他ということで、何かございませんか。 これまでのことでのお気づきなど何でも構いません。 何かありませんか。 岩井課長お願いします。</p>
<p>岩井課長</p>	<p>今、御発表いただきまして、本当にありがとうございました。 非常にイメージが湧いてきたかなというふうに思います。 今皆さんからいろいろ出していただいた提案などは、また素案 を提示するように1回出来たらと思います。 また、確認していただきながら、添削作業などや、そして答申 の作成につなげていきたいというふうに考えている次第です。 今日、割と具体的に、校数であるとか、そういった地域の学校 の名称であったりとか、どこにどういうふうに再編されるか というようなイメージが湧きそうな話合いがされたと思います。 ですので、協議内容、余計今まで以上に当面、マル秘事項とし て、また一般の方々にはお願い出来たらなというふうに思っ ております。</p> <p>ちょっと一つ通学の件に関してなんですが今愛南町では、そう いった統合になった地域には、スクールバスを配置したり、子 供たちの御家族の負担軽減には努めております。</p> <p>また、遠方の少人数の地域なんかは、タクシーをスクールバス のかわりに活用したりとかいうことは既にやっておりますが、 またさらなるいろんな手だては考える必要があるかと思いま すが、この通学負担に関しては、やはり町が責任を持って保障 をすべきかなと思いながら今日聞かせてもらいましたありが とございます。</p>
<p>委員長</p>	<p>岩井課長ありがとうございました。 そのほかございませんでしょうか。</p>
<p>委員</p>	<p>先程、ちょっとだけ話が出たんですけど、篠山に関しては、 愛媛県と高知県がのっとるんですが、高知県との話合いってい</p>

<p>岩井課長</p>	<p>うのはどうなるんです。</p> <p>宿毛市と愛南町の組合立ということで、これは昭和の初めの頃から始まった、組合自体は昭和 20 年度ぐらい、20 何年度ぐらいからだ記憶しておりますけれども、それで、既にですね篠山組合の教育委員会、そして篠山の議会があるのですけれども、そういったときに、あちらの市長さんであるとか、教育長であるとか、次長などともですね、愛南町ではこういう動きになっているということで情報交換しております。</p> <p>いずれもしそういうことが来るのであれば、また双方で話し合っただけで当然双方の議会等の考えであるとか、また地域の方々のお考えであるとか、あと、やはり建物がありますので、あと実は、まだ起債の借入れが残ってしまっていて、その返済などもございます。</p> <p>そういったのもひっくるめて財産処分らもひっくるめての話し合いをしないといけませんねっていうのはもう閉校するというのではなくて、万が一そういう時期が来たらということでそういう情報交換はしております。</p>
<p>委員長</p>	<p>ありがとうございました。そのほかございませんでしょうか。</p>
<p>委員</p>	<p>現在考えておる統廃合は、今ある学校を使っただけの統廃合なんですね新しい学校をつくっていることを考えてないんですね。</p>
<p>中村教育長</p>	<p>はい。お答えをします。</p> <p>現時点では今ある学校を使っただけというふうには考えておりません。</p> <p>例えばですね、もしこれが中学校は 1 校にという皆さんの意見がまとまったりすると、それは現実的に難しかったりするので、統廃合と新校舎をつくるっていうことをセットでまた考えるとか、そういうことになりましたが、今の時点では極力すぐにこの学校はもう耐用年数が来て壊れそうやから建て替えないといけないとかいうことを除けば、極力今ある学校を有効利用していくというのが前提です。</p>
<p>委員</p>	<p>もう一つ、津波のことを考えたら〇〇中学校ですかね。ちょっと心配な点があるんですが、そういう点はどんなんでしょうか。</p>

<p>中村教育長</p>	<p>はい。</p> <p>これについてもですね、今防潮堤をつくるために県、国を含めていろいろ苦勞を重ねているところなのですが、防潮堤が出来たにしても、最大限の想定される津波が万が一来たときには厳しいかもしれないと。</p> <p>ただしそこを全て前提に考えて校舎とか何かを津波が危ないから全部ここにしようとかいうたら、もっと極端に言うと内海地域とか全部、津波考えたらもう最初から小学校も、もう建てかせんといかんよねとかいうことになるので。</p> <p>今はきちっとまず避難できるという訓練を学校に関してはかなりやっていますので、その前提の中でまずは考える。ただし今後国がまた想定を変えるとかですね、そういうことが起きれば、幾ら何でも今のところにつくるのが怖いねとかいうことになって、新しく安全な場所につくるのをセットで考えますということになるかもしれません。</p> <p>東北の大震災後を受けて、南海東南海含めたこの3連動で最大級がもしも万が一起きたらという、全てそういう最大限のものが起きたときをセットに今考えてくれているのがこの庁舎がぎりぎり大丈夫という、愛南町で久良が17メートルというのがそのレベルの津波ですので、当然絶対来ないとは言いませんけど、それを全ての前提に考えていくと、本当に建物は公共のものはすぐに山手に移動せんといけんとか、そういうことになりますので、そこまでは現時点では考えておりません。</p>
<p>委員長</p>	<p>そのほかございませんでしょうか。</p> <p>なければ、今回の貴重な意見、今後の参考さとさせていただきます。</p> <p>ありがとうございました。</p> <p>それでは、以上で全ての協議が終わりました。</p> <p>皆様御協力ありがとうございました。</p> <p>では、進行を事務局にお願いします。</p>
<p>近田課長補佐</p>	<p>はい。</p> <p>委員長、副委員長ありがとうございました。</p> <p>それでは閉会挨拶を副委員長が申し上げます。</p>
<p>副委員長</p>	<p>(閉会あいさつ)</p>

近田課長補佐	副委員長、ありがとうございました。 以上をもちまして、第6回愛南町学校統廃合検討委員会を閉会します。 本日は大変お疲れさまでした。
--------	---